



## 楽しい夏休み！☀

長い梅雨も明け、いよいよ夏本番を迎えます。長い1学期も、保護者の皆様には多くの御支援と御協力をいただいたことに感謝申し上げます。

さて、学校生活も1学期も終わり、子供たちの気持ちはすでに「夏休みモード」になっています。みんな夏休みを楽しみにしていました。お父さんお母さん方は、夏休みにどのような思い出がありますか？私は毎朝地区のソフトボールの練習があったので、近所の先輩後輩たちと5時前に集合して練習していました。そして、練習が終わるとみんなで林へ虫取りに行ったり、川で遊んだりしていました。気温も今ほど高くなかったので、日中外で遊んでいても困った記憶はありません。夏休みは「子供たちを地域、家庭に戻す」ことで、社会の一員としての自覚や自律を促し、一人一人の大きな成長を願うことを目的としています。もしかしたら普段は家で何も役割がなかったり、地域の行事にあまり参加できなかったりする子供たちもいるかもしれません。だからこそ、夏休みを利用して多くの経験を積ませてほしいと思います。今も昔も子供たちにとって夏休みは楽しみな時間です。そして、地域でのつながりや普段できないこと、普段行けないようなところで見識を深める機会となります。今年は、41日間と昨年度より長い夏休みとなっています。子供たちにとって有意義な時間になることを願っています。

また、長い夏休みの中で、保護者の方々にも子供たちと一緒に取り組んでいただきたいことがあります。それは、子供たちの「自己肯定感を高める」取り組みです。日々子供たちは様々な思いをもって生活しています。しかし、すべてが順調とはいかず、時に躓いたり、落ち込んだりすることもあります。そこで、さらなる親子関係の向上や、子供たちが今以上に楽しく学校生活を送ったり、家庭での生活を送ったりできるようにしたいと考えています。決して難しいことではありません。時間も手間もかけずにできることを紹介します。

### ① 対話を増やしましょう

「この人と話したい」と思えるような雰囲気づくりを心掛けてください。話しかけてきたときに内容を否定するのではなく、まず肯定することが大切です。子供が話したいことに共感しながら（うなずきながら）話を聞いてください。

### ② 物事を合理化しない

子供の行動や価値観を大人が決めないことです。「○○しなきゃならないから、今すぐ準備しなさい」等、子供たちの行動を勝手にマネジメントしないことです。また、子どもたちが何を優先して取り組まなければならないのか、子どもたちが取捨選択できる場面を作りたいですね。

### ③ 子供の問いに「応答」すること

何か質問されたりするときに「その答えは○○だね」ではなく、その事実を受け止め一緒に話をすることが「回答」ではなく「応答」になります。

ちょっとしたことですが、子供たちの気持ちは大きく成長し、素直な人間関係の構築につながります。ぜひお試しください。大きく成長した子供たちに会えることを楽しみにしています。